

# こなん水辺公園ニュース

2009年10月号(通算第4号)

こなん水辺公園解説員グループ編集

## 稲刈りが行われました

園内にある田んぼでは、夏の終わりごろから黄金色の稲穂がとてもきれいな景色をつくっていました。10月4日、この田んぼの稲刈りが行われました。大勢の人が参加し、手鎌で稲穂を刈り取っていききました。刈り取られた稲穂は束にされてハサ木に架けられていき、秋の風景がつくられていました。



## ドンコ、あらわる

10月31日、園内の田んぼ近くの池にドンコという珍しい魚がいました。

捕まえたのは公園に遊びに来ていた男の子たちです。ザリガニを取ろうと網で何度もすくっていたら網の中に入ったようです。



大きな口でグロテスクですが愛嬌があります。



ほかにもドジョウがとれました。

## オオヨシキリの巣

春から夏にかけて、園内にたくさんいたオオヨシキリ。春になると南方から日本へ渡ってきて、ヨシ原の中などで茎の間に巣をつくり、雛を育てる鳥です。



今年もう子育ても終わり、南方へ帰っていきました。そのオオヨシキリの巣を園内で見つけました。



見つけた巣は現在、管理学習棟の板の間手前に置いてある掲示板に展示してありますので、ご覧になってください。

植物を使って丁寧に作られていることがわかると思います。

## 日本の秋を再現してみました

外来種のセイタカアワダチソウ、すっかりなじみの黄色い花はいまの秋の色になっています。でも、少し前まではこの花はほとんど目立ちませんでした。そのころは、銀白色のオギの穂やヨシやスキの穂が風に揺れて輝いていました。

いま、この風景をこなん水辺公園につくりだそうと、セイタカアワダチソウの抜き取りをしています。



抜き取り作業中。セイタカアワダチソウがたくさんあります。



なつかしい日本の秋

